

令和 7 年職場における熱中症による死傷災害の発生状況(確定値、熊本県)

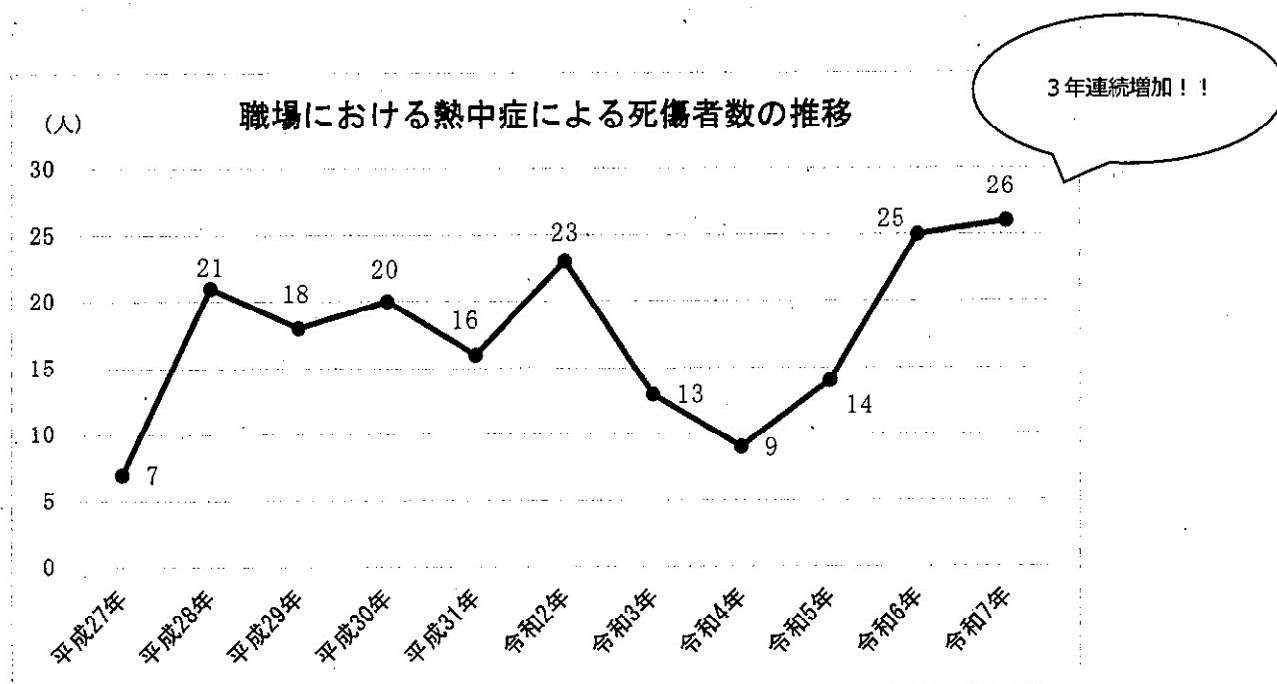
1 職場における熱中症による死傷者数の状況(平成 27 年～令和 7 年)

職場での熱中症による死亡者及び休業 4 日以上の上業務上疾病者の数(以下合わせて「死傷者数」という。)は、令和 7 年に 26 人となった。一方、死亡災害は発生していない。

職場における熱中症による死傷者数の推移(平成 27 年～令和 7 年) (人)

平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
7 (1)	21 (0)	18 (0)	20 (0)	16 (0)	23 (0)	13 (0)	9 (0)	14 (0)	25 (0)	26 (0)

※ () 内の数値は死亡者数であり、死傷者数の内数である。



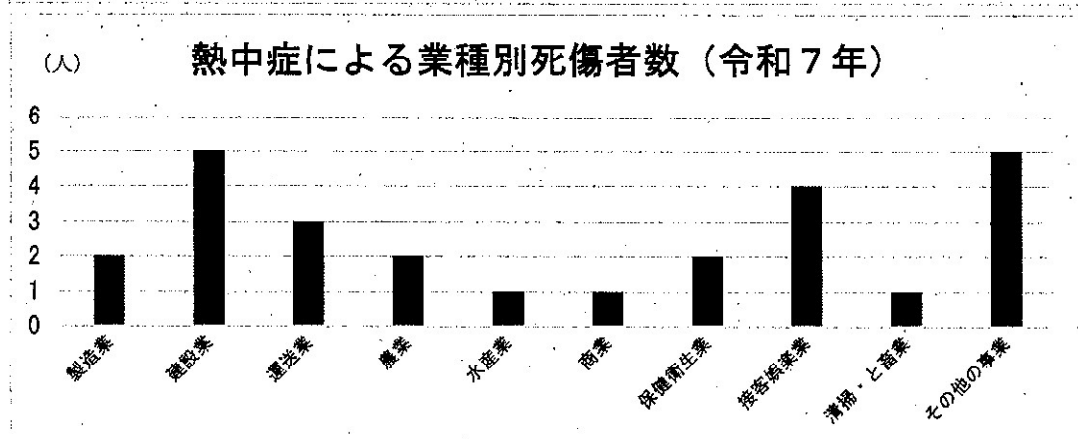
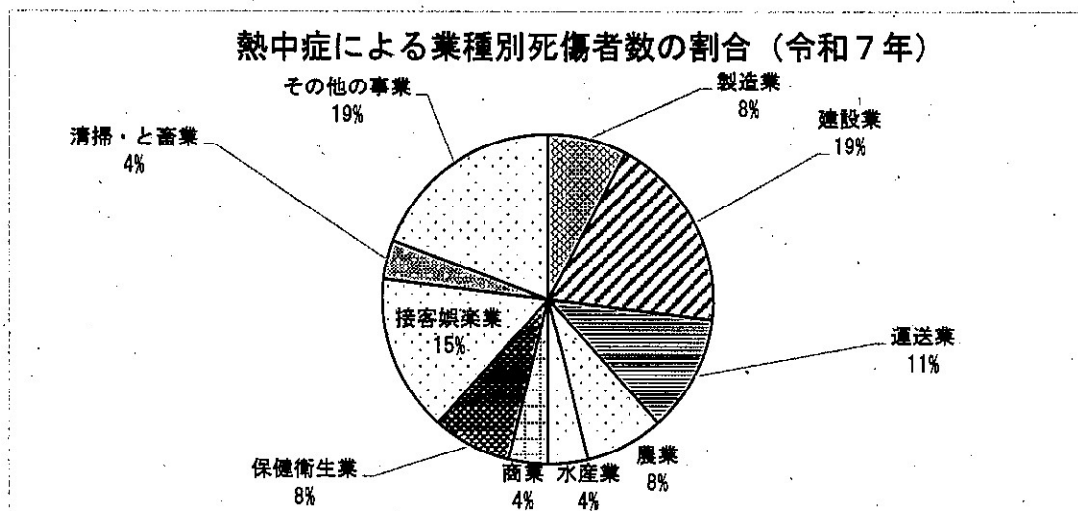
2 業種別発生状況（令和7年）

令和7年の業種別の熱中症の死傷者数をみると、建設業、その他の事業、次いで接客娯楽業、運送業で多く発生していた。なお、令和6年と比べて7種から10種に増加しており、農業、水産業、接客娯楽業は令和6年には発生がなかった業種である。

熱中症による死傷者数の業種別の状況（令和6年及び令和7年）（人）

業種	製造業	建設業	運送業	農業	水産業	商業	保健衛生業	接客娯楽業	清掃・と畜業	その他の事業	計
令和7年	2 (0)	5 (0)	3 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	4 (0)	1 (0)	5 (0)	26 (0)
令和6年	8 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	9 (0)	25 (0)

※（ ）内の数値は死亡者数で内数である。



3 月・時間帯別発生状況（令和7年）

（1）月別発生状況

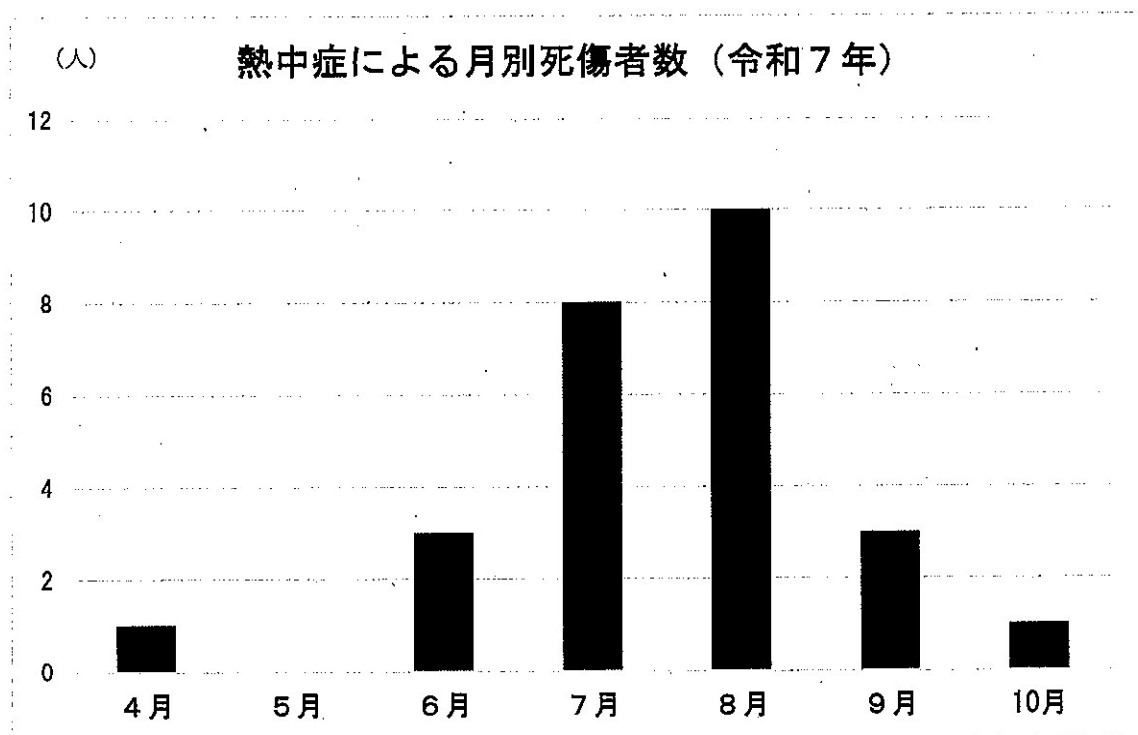
令和7年の月別の熱中症の死傷者数をみると、全体の約7割が7月又は8月に発生していた。

熱中症による死傷者数の月別の状況（令和7年及び令和6年）（人）

	4月 以前	5月	6月	7月	8月	9月	10月 以降	計
令和 7年	1 (0)	0 (0)	3 (0)	8 (0)	10 (0)	3 (0)	1 (0)	26 (0)
令和 6年	1 (0)	0 (0)	1 (0)	9 (0)	12 (0)	2 (0)	0 (0)	25 (0)

※ 4月以前は1月から4月まで、10月以降は10月から12月までを指す。

※ （ ）内の数値は死亡者数で内数である。



(2) 時間帯別発生状況 (令和7年)

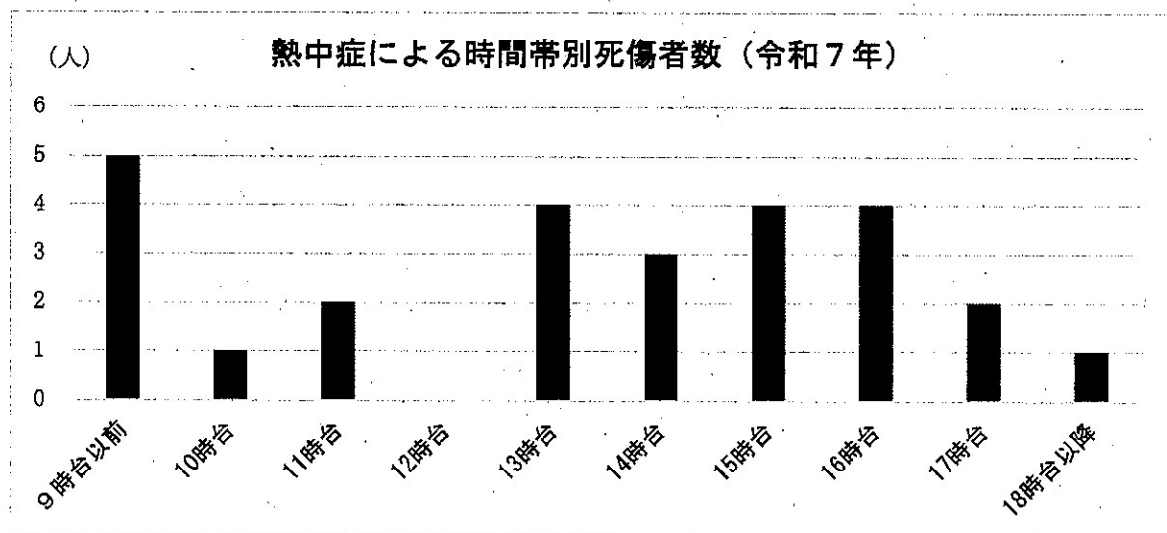
令和7年の時間帯別の熱中症の死傷者数をみると、令和6年と同様に概ね全時間帯まんべんなく発生しており、深夜時間帯の発生も認められた。

熱中症による死傷者数の時間帯別の状況(令和7年及び令和6年) (人)

	9 時 台 以 前	10 時 台	11 時 台	12 時 台	13 時 台	14 時 台	15 時 台	16 時 台	17 時 台	18 時 台 以 降	計
令和 7年	5 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	4 (0)	3 (0)	4 (0)	4 (0)	2 (0)	1 (0)	26 (0)
令和 6年	4 (0)	2 (0)	3 (0)	3 (0)	2 (0)	3 (0)	2 (0)	3 (0)	0 (0)	3 (0)	25 (0)

※ 9時台以前は0時台から9時台まで、18時台以降は18時台から23時台までを指す。

※ () 内の数値は死亡者数で内数である。



4 年齢別発生状況（令和7年）

令和7年の年齢別の熱中症の死傷者数をみると、50歳代が最も多く、次いで60歳以上が多くなっていた。また、全体の65%が50歳代以上となった。

熱中症による死傷者数の年齢別の状況（令和6年及び令和7年）（人）

	19歳 以下	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60歳 以上	計
令和 7年	0 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	9 (0)	8 (0)	26 (0)
令和 6年	0 (0)	4 (0)	4 (0)	4 (0)	8 (0)	5 (0)	25 (0)

※（ ）内の数値は死亡者数で内数である。

熱中症による年齢別死傷者数の割合（令和7年）

■ 20～29歳 ■ 30～39歳 ■ 40～49歳 ■ 50～59歳 ■ 60歳以上

